

## 5 水道用水供給事業経営指標一覧表

業務指標（PI）以外の経営に関する主な指標は、下表のとおりです。

### 水道用水供給事業経営指標一覧表

業務指標（PI）以外の経営に関する主な指標は、下表のとおりです。

《会計基準の見直しに伴う、平成26年度以降の指標算式の変更について》

- ※1 固定負債構成比率(%) = (固定負債 / 負債資本合計) × 100
- ※2 固定資産対長期資本比率(%) = (固定資産 / (資本金 + 剰余金 + 評価差額 + 固定負債 + 繰延収益)) × 100
- ※3 負債比率(%) = [(固定負債 + 流動負債) / (資本金 + 剰余金 + 評価差額 + 繰延収益)] × 100
- ※4 固定負債比率(%) = [固定負債 / (資本金 + 剰余金 + 評価差額 + 繰延収益)] × 100
- ※5 流動負債比率(%) = [流動負債 / (資本金 + 剰余金 + 評価差額 + 繰延収益)] × 100
- ※6 自己資本回転率(回) = (営業収益 - 受託工事収益) / [(期首(資本金 + 剰余金 + 評価差額 + 繰延収益)) + 期末(資本金 + 剰余金 + 評価差額 + 繰延収益)] / 2
- ※7 自己資本利益率(%) = [当年度純利益 / [(期首(資本金 + 剰余金 + 評価差額 + 繰延収益)) + 期末(資本金 + 剰余金 + 評価差額 + 繰延収益)] / 2] × 100
- ※8 総資本回転率(回)、自己資本回転率(回)、流動資産回転率(回)、総資本当年度純利益率(%)の期首の数値は、平成26年度に限り会計基準の見直しに伴う移行仕訳したものを使用する。

#### ア 構成比率 (構成部分の全体に対する関係を表す指標)

指標名	定義、算式	算式の変更	説明	H10	H20	H26	H27	H28	H29	H30
固定資産構成比率(%)	(固定資産 / 総資産) × 100		総資産中の固定資産の割合を示す。100に近いほど資産は固定化の傾向にある。水道事業はこの傾向が著しい。	95.79	96.42	93.20	92.14	91.68	90.47	90.32
固定負債構成比率(%)	[(固定負債 + 借入金) / 負債資本合計] × 100	※1	負債・資本とこれを構成する固定負債の割合を示すもので、この比率が小さいほど経営の安全性は大きいと言える。	54.29	44.37	34.90	33.28	31.91	30.25	29.15

#### イ 財務比率 (資産と負債又は資本との相互関係を表す指標)

指標名	定義、算式	算式の変更	説明	H10	H20	H26	H27	H28	H29	H30
固定資産対長期資本比率(%)	(固定資産 / (資本金 + 剰余金 + 固定負債)) × 100	※2	固定資産が、返済期限のない自己資本や長期に活用可能な固定負債によってどの程度調達されているかを示す。100以下を理想とする。	96.46	96.88	96.52	95.76	94.89	94.19	93.26
当座比率(%)	[(現金預金 + 未収金) / 流動負債] × 100		短期債務の支払原資となる現金預金及び容易に現金化する未収金が十分にあるかを示す。100以上が望ましい。流動比率の補助比率である。	599.74	739.46	196.79	207.07	245.29	241.24	307.03
現金預金比率(%)	(現金預金 / 流動負債) × 100		即座の支払い能力を示す。100以上が望ましい。	501.77	630.13	176.50	191.33	228.01	226.33	288.33
負債比率(%)	[(固定負債 + 流動負債 + 借入金) / (自己資本 + 剰余金)] × 100	※3	負債は自己資本を超過しないことが健全経営の第一義であるので、100以下を理想としている。	122.15	81.33	62.17	58.87	54.53	51.96	47.70
固定負債比率(%)	[(固定負債 + 借入金) / (自己資本 + 剰余金)] × 100	※4	負債比率の補助比率で、両者を合計すれば負債比率となる。負債比率が100を超える場合であっても負債の良否を判断する必要がある。H26で比率が高くなるのは、会計基準の見直しで1年以内に償還する企業債などが流動負債に計上されたためである。	120.61	80.46	56.60	52.87	49.31	45.97	43.05
流動負債比率(%)	(流動負債 / (自己資本 + 剰余金)) × 100	※5		1.54	0.87	5.57	6.00	5.22	5.99	4.65

#### ウ 回転率 (企業の活動性を示すもので、比率が大きいほど資本が効果的に使われていることを表す指標)

指標名	定義、算式	算式の変更	説明	H10	H20	H26	H27	H28	H29	H30
総資本回転率(回)	[(営業収益 - 受託工事費) / (期首負債資本合計 + 期末負債資本合計) / 2]	※8	企業に投下され運用されている総資本が効率的に活用されているかを測定するものである。比率が大であるほど効率性は高い。	0.08	0.06	0.07	0.07	0.06	0.06	0.07
自己資本回転率(回)	[(営業収益 - 受託工事収益) / (期首(自己資本 + 剰余金) + 期末(自己資本 + 剰余金)) / 2]	※6、※8	総資本のうち自己資本が効率的に活用されているかを測定するものである。比率が大であるほど効率性は高い。	0.17	0.10	0.11	0.10	0.10	0.10	0.10
流動資産回転率(回)	[(営業収益 - 受託工事収益) / (期首流動資産 + 期末流動資産) / 2]	※8	流動資産に対する営業収益の割合で、期間中に流動資産の何倍の営業収益があったかを示す。	1.76	1.45	1.04	0.89	0.80	0.73	0.68

#### エ 収益率 (収益と費用とを対比して企業の経営活動の成果を示す指標)

指標名	定義、算式	算式の変更	説明	H10	H20	H26	H27	H28	H29	H30
総資本当年度純利益率(%)	[当年度純利益 / (期首負債資本合計 + 期末負債資本合計) / 2] × 100	※8	投下した資本総額の収益力を測定するものである。この指標が高いほど収益性が高い。	0.36	0.17	0.77	0.78	0.71	0.71	0.51
自己資本利益率(%)	[当年度純利益 / (期首(自己資本 + 剰余金) + 期末(自己資本 + 剰余金)) / 2] × 100	※7	投下した自己資本の収益力を測定するものである。	0.83	0.30	1.27	1.26	1.11	1.08	0.77
純利益対総収益率(%)	(当年度純利益 / 総収益) × 100		総収益のうち最終的に企業に残された純利益の割合を示すものである。	4.33	2.79	10.19	10.37	9.53	9.62	6.95
単年度剰余金比率(%)	(単年度剰余金 / (営業収益 - 受託工事収益)) × 100		単年度の本業による利益(営業収益)に対する剰余金(純利益)の割合を示す。	4.63	2.91	11.89	12.02	10.93	10.93	7.87

(※ 当年度純利益・単年度剰余金には、特別利益・特別損失を含む。)

#### オ 生産性 (損益勘定職員1人当たりの生産性を把握する指標)

指標名	定義、算式	説明	H10	H20	H26	H27	H28	H29	H30
損益勘定職員数(人)	—	水道用水供給事業に従事している職員で収益的収支(3条)から給与を受けている職員の人数。	246	264	264	266	266	268	264
職員1人当たりの職員給与(千円/人)	職員給与 / 職員数	—	10,345	11,207	7,678	7,678	7,678	7,934	8,946
職員1人当たりの給水人口(人)	給水人口 / 職員数	—	26,402	26,841	27,226	27,226	27,226	27,041	27,520
職員1人当たりの有収水量(千m <sup>3</sup> /人)	有収水量 / 職員数	—	2,707	2,507	2,415	2,415	2,415	2,350	2,396
職員1人当たりの総収益(千円/人)	総収益 / 職員数	—	172,960	161,259	174,483	172,618	169,583	165,271	168,020
職員1人当たりの給水収益(千円/人)	給水収益 / 職員数	—	161,683	154,887	149,181	148,664	147,498	145,193	148,044
職員1人当たりの総費用(千円/人)	総費用 / 職員数	—	165,476	156,754	156,707	154,717	153,429	149,377	156,349

#### カ 建設改良費、企業債など (建設改良費、企業債残高、内部留保資金などに関する指標)

指標名	定義、算式	説明	H10	H20	H26	H27	H28	H29	H30
当年度減価償却率(%)	当年度減価償却費 / (有形固定資産 - 無形固定資産 - 土地 - 建設仮勘定 + 当年度減価償却費) × 100	償却対象資産に対する平均償却率である。この比率が大きいほど、投下した資本が減価償却費として回収され、流動資産として内部留保されていることを示す。	3.34	3.28	4.78	4.83	4.94	5.01	5.16
建設改良費(百万円)	—	水道施設(浄水場、水道管など)の建設や改良・更新にかかる費用。資本的支出の一部。	27,868	15,529	12,684	14,489	16,921	21,222	17,460
有収水量1m <sup>3</sup> 当たりの建設改良費(円/m <sup>3</sup> )	建設改良費 / 有収水量	有収水量1m <sup>3</sup> 当たりの建設改良費を示す。	41.85	23.46	19.90	22.73	26.54	33.69	27.60
給水収益に対する建設改良費の割合(%)	建設改良費 / 給水収益	給水収益に対する建設改良費の割合を示す。	70.07	37.98	32.21	36.92	43.46	54.54	44.67
企業債残高(百万円)	—	—	248,559	196,945	139,239	136,383	133,313	131,830	128,467
内部留保資金(百万円)(使途特定されたものを除く)	流動資産 - 流動負債 - 引当金 - 貯蔵品	減価償却費などにより企業の内部に留保される資金。引当金等を含む場合もあるが、当レポートの中では含んでいない。	13,930	15,026	13,384	19,285	25,333	31,095	36,657
給水収益に対する内部留保資金残高の割合(%)	内部留保資金 / 給水収益	—	35.0	36.7	34.0	49.1	65.1	79.9	93.8
資本的収支補てん額(百万円)	—	資本的収入が資本的支出に不足する場合、補てんする金額。	18,726	21,859	17,125	17,094	17,178	17,525	16,556
国庫補助金(百万円)	—	—	7,493	3,968	1,609	1,753	2,632	3,795	4,259

